妹背牛
妹背牛町勢要覧
m o s e u s h i

ごあいさつ

妹背牛町は総面積48.55平方キロメートルと北海道では3番目に小さな山のないまちで、北海道の母なる川「石狩川」が流れ、肥沃な大地が広がっています。

明治26年に開拓の鍬が下ろされ、先祖先人のたゆまぬ努力により着実に発展を遂げ、道内屈指の良質米の生産地としてその名を誇っています。

源泉かけながしで良質な泉質の「妹背牛温泉ペペル」や「カーリングホール」・「パークゴルフ場」が併設された「遊水公園うらら」は多くの方々に楽しんでいただける施設になりました。

現在、本町では、「第8次妹背牛町総合振興計画」が目指す「人輝き、笑顔あふれるまち・もせうし」の実現に向け、町民の皆さまをはじめ、企業や団体、行政が協働してまちづくりを進めているところです。

この町勢要覧では、豊かで快適な環境の中でまちづくりに取り組む施策方針を、さまざまな視点から紹介しています。

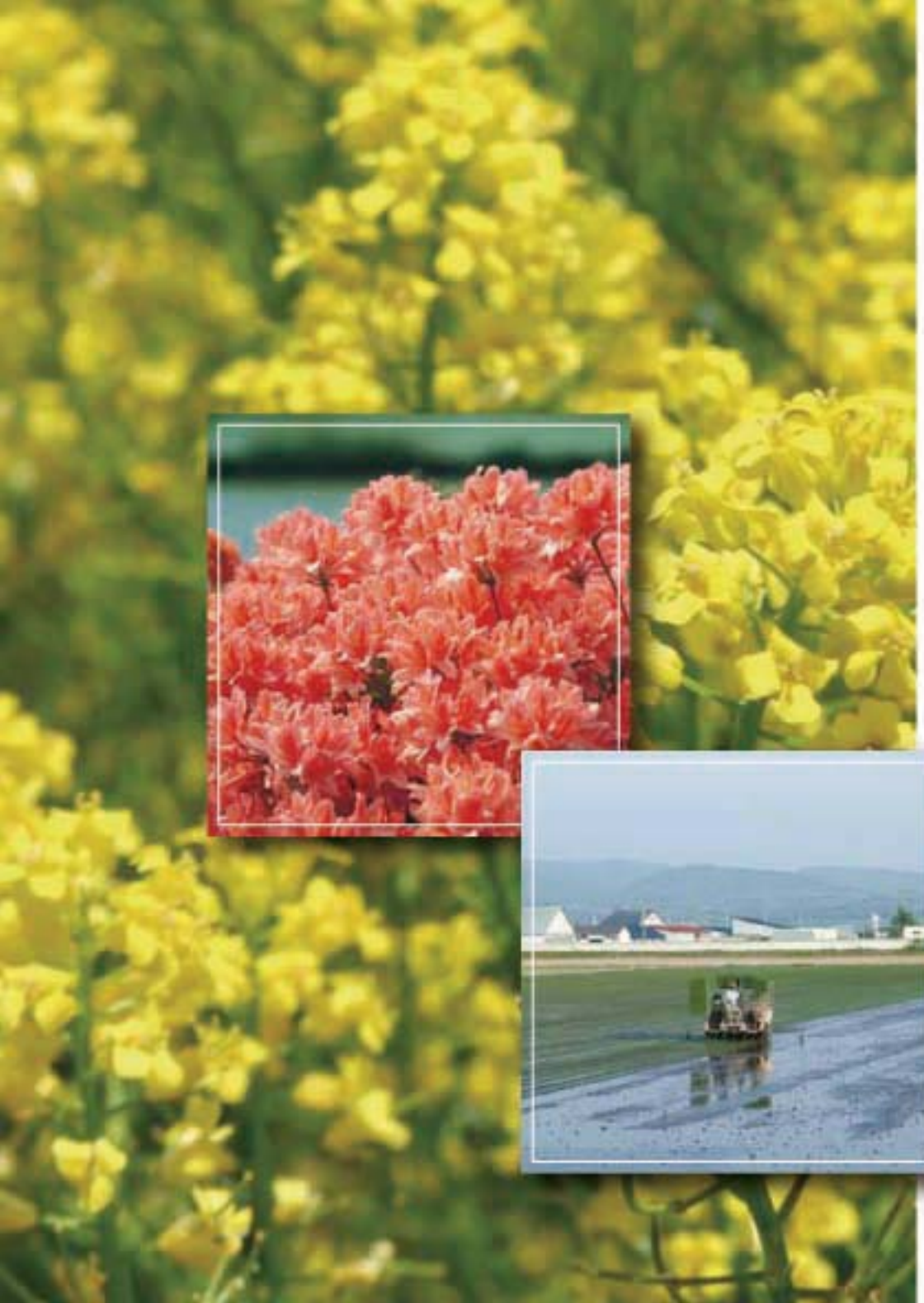
この要覧を通して、妹背牛町を広くご紹介するとともに、今後のまちづくりに更なるご指導、ご助言、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

妹背牛町長 寺崎 一郎

moseushi

妹背牛町中心部 MAP

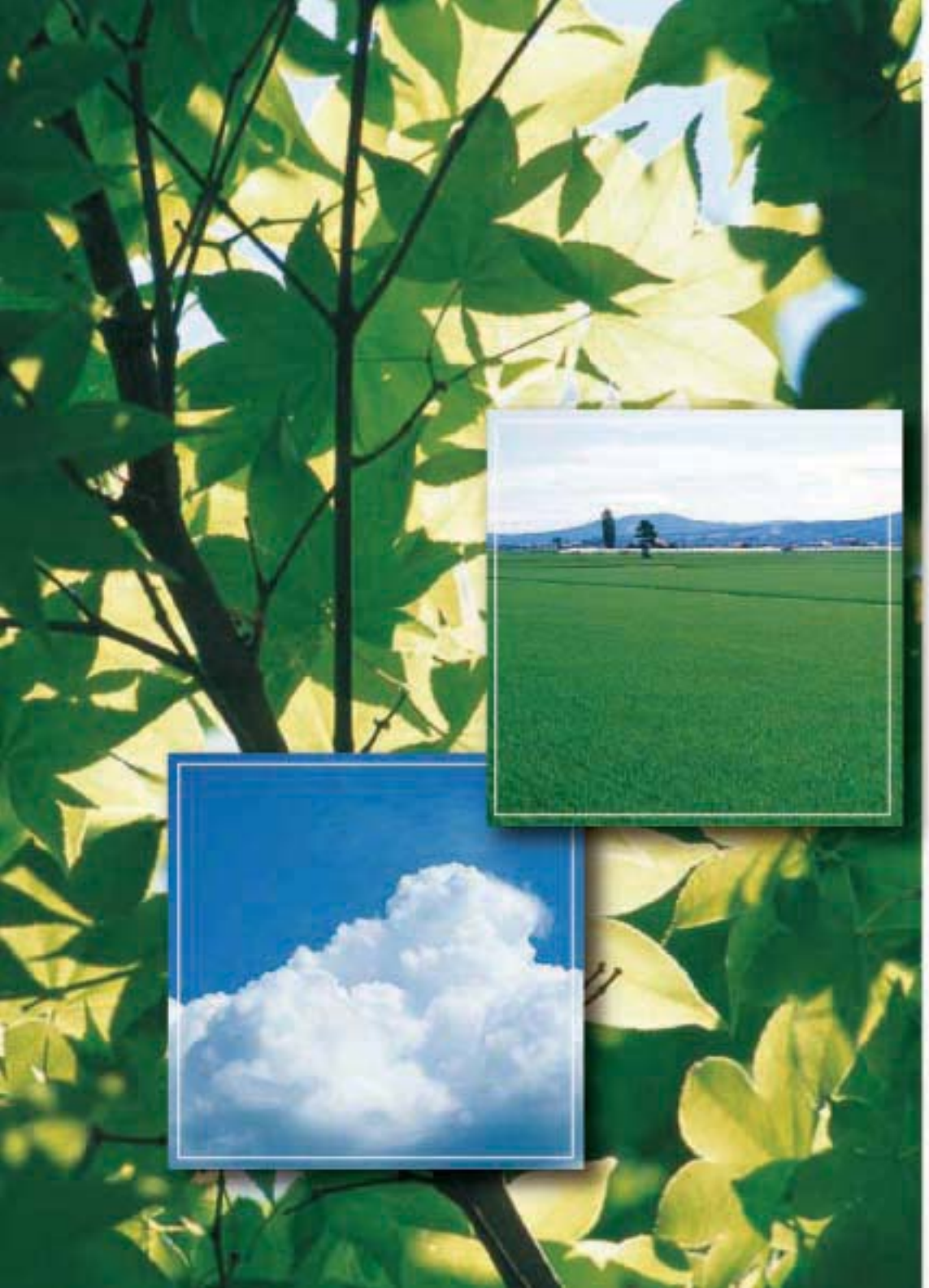
遊水公園うらら
パークゴルフ場
カーリングホール
カントリー
エレベーター
総合体育館
農業者トレーニングセンター
ゲートボール場
保健センター
老人福祉センター
妹背牛温泉ペペル
役場
中学校
デイサービスセンター
老人保健施設りぶれ
生活支援ハウス
すまい・る
農産物加工センター
診療所
農産物直売所
郵便局
JA北いぶき妹背牛
商工会
郷土館●
●町民会館
小学校
コミュニティー
プラザ
交流広場
消防署
幼稚園●
保育所●
妹背牛駅
N



Spring春

朝日が射す田園に、新しい生命を蒔く。

草木が萌え芽ばえ
目覚めた命が躍り出す春。
辺りは一面に緑が広がり
妹背牛の大地に
明るい陽射しが降りそそぎます。



Summer 夏

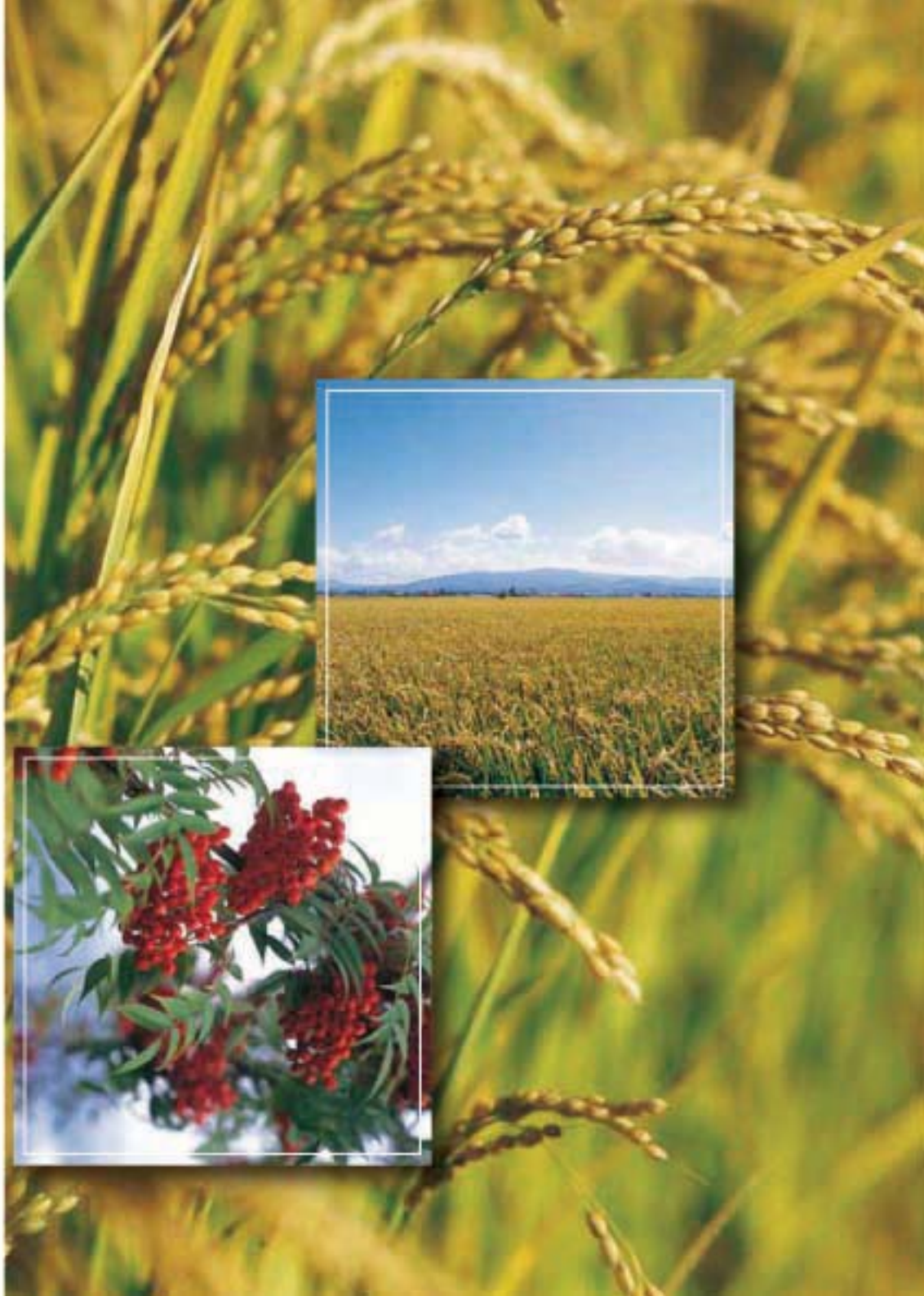
透きとおる青空の下で、
大地の躍動を感じる。

どこまでも青い空。
まぶしい太陽の光が
妹背牛の恵みの大地を照らします。
作物は青々と茂り、豊作の予感に
人々の心は浮き立ちます。

秋 Autumn

辺り一面が黄金色になると、大地も心も色づく。

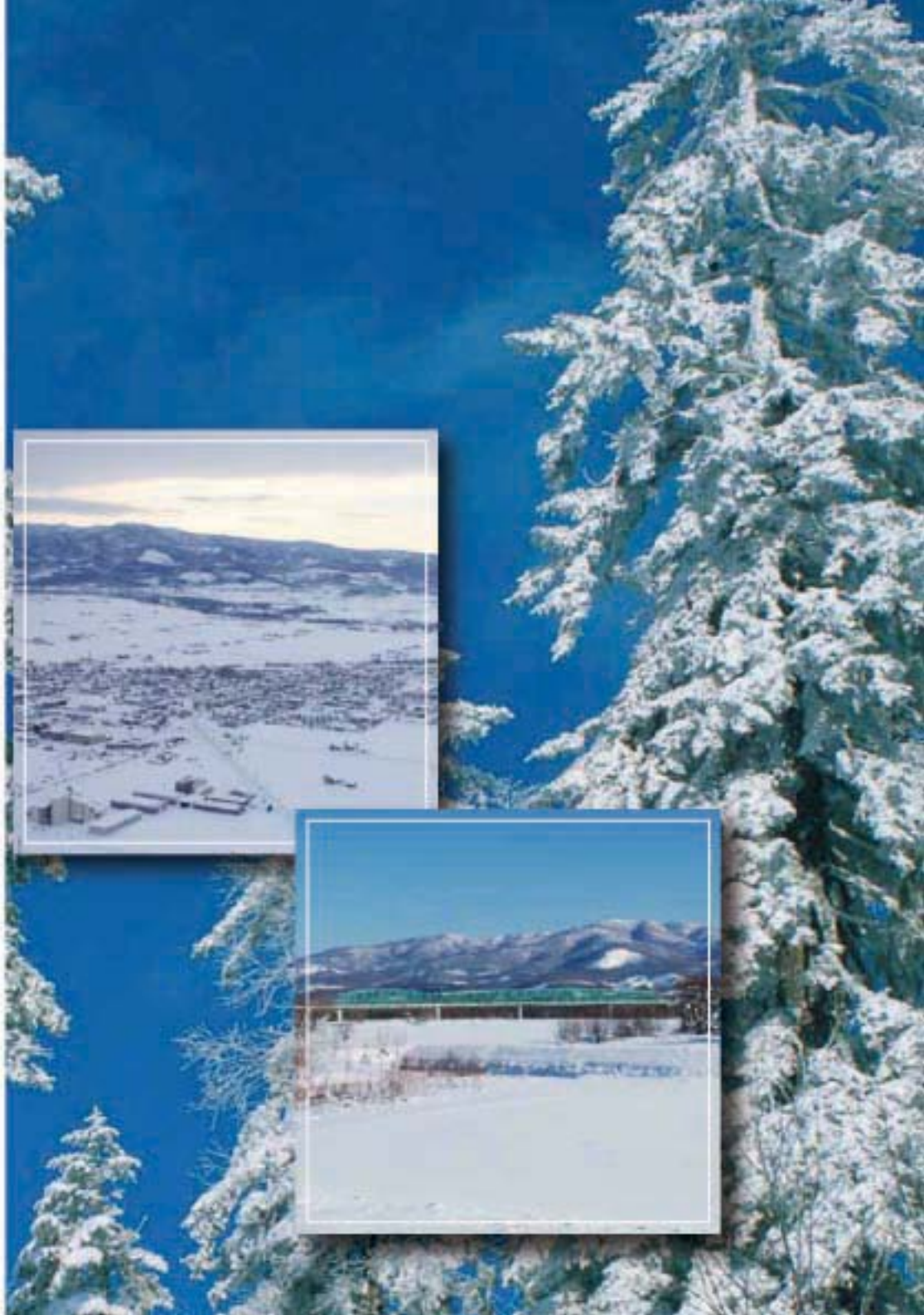
短い夏も終わり涼しい風が
吹き抜けると豊穣の秋。
稲穂は黄金色に輝き
人々は肥沃な大地に感謝し
収穫を喜びます。



冬 Winter

真っ白に覆われた大地は、しばし休息の時。

雪がしんしんと降り積もり
すべてが白銀色の世界に輝く
妹背牛の冬。
時には雪と闘い、時には雪と親しみ
希望を抱いて春を待ちます。



人輝き、笑顔あふれるまち・もせうし

私たちは、ここに住む人が本当に望む
まちづくりを町民と行政が協働で実現
することを目指し、ここに住む私たちが
輝き、ここに住むことで笑顔があふれるまち・
もせうしを創ります。

1 活力と賑わいあふれる産業のまちづくりを進めます。

基幹産業である稲作中心の農業、住民の生活を支える地域密着型商店街を形成している商業、妹背牛ならではの物づくりで雇用の充実を図っている工業、それぞれが本町の経済を支えています。

今後、各分野で将来を見据えた新たな可能性を見いだし、足腰の強い産業を育成していくことが、これからの目標のひとつです。

農業・商業・工業に加え、妹背牛温泉ペペルやカーリングホールなどの観光資源を有機的に結びつけ、各分野の経済的効果が波及・循環されていく仕組みづくりを行い、その豊かさが実感できるまちを目指します。

Industry & Economy 産業・経済

2 安心して暮らせる福祉と健康のまちづくりを進めます。

急速に進む少子高齢化社会の中で、町民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、お互いの個性や自立する心を尊重しながら、お互いに助け合い、心の安らぎと生きる喜びを感じられることが、これからの目標のひとつです。

誰もが社会参加できるための仕組みや健康で安心して暮らすことができる地域社会を築くことを目指します。

診療所

老人保健施設 りぷれ

Insurance & Medical treatment & Welfare 保健・医療・福祉

3 安全で生活しやすい快適なまちづくりを進めます。

本町の生活基盤は、数値的には全国・全道平均と比べるとほぼ充足している状況にありますが、数値上では表せない部分にも解決すべき課題が多くあり、町民が本当に望む環境整備を進めることが、これからの目標のひとつです。

施設・設備の計画的な更新を進めるとともに、適正な処理・管理による生活環境の向上に努め、地域が一体となった誰もが安心して生活できるまちづくりを目指します。

Life base & Environment 生活基盤・環境

4 次代を担う創造力豊かな人を育むまちづくりを進めます。

情報化の進展や少子高齢化の進行など、社会環境の急激な変化に伴い、ライフスタイルや価値観は多様化しています。「もせうし」に住むすべての人が夢と希望を持ち、それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を通して、自ら学び、知識や技術を高めながら自己実現を図り、充実した日々を過ごせることが、これからの目標のひとつです。

自分の生まれ育ったまち「もせうし」への思いを大切にし、何事にもチャレンジする心と自分の生き方に誇りを持てる人づくりを目指します。

Education & Culture 教育・文化

5 協働による自主・自立のまちづくりを進めます。

誰もが平等に社会参加の機会や社会の情報を手にし、様々なコミュニティ活動や頑張っている人への支援が容易にでき、さらに子どもたちが夢を持って生きていける社会システムの実現が、これからの目標のひとつです。

町民同士が気楽にまちづくりについて考え、自ら行動することができる仕組みをつくるとともに、ここに住む私たちが町の将来を考え、よりよい暮らしを実現するための協働のまちづくりを目指します。

こども獅子舞

パークゴルフ

Cooperation & Administration and finance 協働・行財政

EVENT 催

町民まつり「もせうし夏祭り」

毎年新しい趣向を凝らして、にぎやかに開催される町民まつり「もせうし夏祭り」は夏真っ盛りの8月上旬。こどもから大人まで楽しめる多彩なプログラムが用意され、祭り広場は終日、老若男女の歓声に包まれます。

開催時期 8月上旬
開催場所 もせうし夏祭り特設会場
※雨天時：トレーニングセンター等

ミックスカーリング妹背牛大会

全道各地からカーリング愛好者が集まり毎年開催されるミックスカーリング妹背牛大会。男女混合で構成されたチームによるカーリング大会で、遠くは雨内市、北見市、苫小牧市などからも参加者が集まる。男女混合での大会は道内では唯一妹背牛町だけ。2日間、レベルの高い熱戦が繰り広げられます。

開催時期 1月中旬
開催場所 妹背牛町カーリングホール

豊年盆踊り大会

ユーモラスでアイデアいっぱいの仮装で会場を埋めつくす盆踊り。人々は北の町の短い夏のひとときを謳歌します。

開催時期 8月中旬
開催場所 盆踊り特設会場
※雨天時順延

施設の紹介

FACILITIES

役　場

農業者トレーニングセンター

総合体育館

デイサービスセンター

郷土館

カーリングホール

生活支援ハウス すまい・ル

町民会館

消防署

ペペルとはアイヌ語の“PE”（ペ）「水」と“PERU”（ペル）「泉」を表すこの温泉を永く愛していただきたい！
そうした願いから、明るく和やかなネーミングを「ペペル」としました。

温泉ペペルは豊富で良質な純天然温泉が湧き出しており、平成５年の開業以来多くのみなさまに愛され親しまれています。

庭園を眺めながらの露天風呂は、疲れた心と身体が癒されます。是非一度お越しいただき、至福のひと時をお過ごし下さい。

温泉

Peperu ペペル

ペペル全景

露天風呂

コテージ

特・産・品

Special product industry goods

北彩香（妹背牛米）

田んぼの畦道に植えたアップルミントから優しい香りが満ちあふれ、その香りが稲穂を害虫から守ります。農薬散布を出来る限り控え、丹精込めて育てたクリーンで安心な妹背牛のお米です。

米粉のお菓子

妹背牛産米の米粉を使ったお菓子です。煎餅やカステラなど、その品数は豊富です。中でも、ラ・ボア・ラクテ「出逢いのスフレ」はフワフワ・モチモチの生地につぶあんと白ごま入り生クリーム入りと、黒米を使った生地と黒糖と黒ごま入りクリームがあり、どちらも絶妙！口の中に幾重にも広がるクリーミーな味わいをお楽しみ下さい。

葉舞な里から（ハーブ焼酎）

田んぼの畦に植えられたハーブ（アップルミント）を刈り取り、焼酎にしました。サッパリとした飲み口が人気です。地方発送も可能ですので、取扱店にお問合せください。

どん菓子

妹背牛産の大豆・米・麦を100%使用し、甘さを抑えたどん菓子です。また大豆は、血中のコレステロールを低下させ、美容やダイエットに役立つ機能成分がたくさん含まれている健康食品です。素材の味をいかしたどんのお菓子で、あなたも健康になりませんか。

農産物

クリーン産業を推進する妹背牛の肥沃な大地で育った美味しい農産物。健康的な土の匂いのする妹背牛産農産物を味わって下さい。

妹背牛町までの交通アクセス

ACCESS

JRご利用の場合

●札幌～深川……約1時間
深川駅から車で10分

マイカーご利用の場合

●旭川から…約45Km／所要時間40分（R12）
●札幌から…約95Km／所要時間1時間（道央道）
●留萌から…約45Km／所要時間40分（R233）

町民憲章

1.元気で働き、楽しい家庭をつくりましょう。
1.心をあわせ、明るい社会をつくりましょう。
1.文化を高め、美しい郷土をつくりましょう。

町章

親しみ深い「も」を米処妹背牛を象徴して稲穂の形で表しています。相対する二つの囲みは協力と提携、その間の2条の水平線は平和、全体の円形は円満、融和、統一を求め、更に2つの三角形の鋭角をもって円の内外に突出しているのは、町の内外に向かって進歩と発展を希望する意味です。

町花／つつじ

花を愛し、郷土を愛する心を育むため、清潔な美しい郷土、妹背牛町の姿を花で象徴。

町花／つつじ

町木／ななかまど

自然を愛する心と限りなく発展する妹背牛町の姿を象徴。

町木／ななかまど

地勢

すべてが平坦で、南には石狩川、西に雨竜川、北に大鳳川が流れ、耕地には概ね沖積土壌で農耕適地となっています。

気候

裏日本型の内陸気候を示し、気温は夏が30度、冬は氷点下20度以下になることがしばしばあり、年間平均気温は6.7度程で平年の初雪は11月上旬頃、融雪は4月と約半年間は雪の中の生活となります。

妹背牛の人口と世帯数

男	女	計	世帯数
1,701	1,885	3,586	1,534

2011.2月末現在

2011年妹背牛町勢要覧
発　　行／妹背牛町総務課地域振興グループ
発 行 日／平成23年4月
企画制作／㈱アドス・エージェンシー